

二中だより

平成21年度1月号 平成22年1月8日

新座市立第二中学校 校報部

新座市野火止7-17-10

☎ 048(477)1212

1月



校訓 まごころ
学校教育目標
明朗
向上
自主・自立

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。旧年中は保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。平成22年も新たな気持ちでより一層充実した教育活動が進められるよう努力をしてみたいと思います。なにとぞよろしくお願ひいたします。

「新」と「寅」

新しい年が始まりました。たった1日違うだけなのですが、その1日がとても新鮮に感じられ、新たな目標をもってがんばろうという意欲がわいてきます。

平成21年の世相を表す漢字に選ばれたのは「新」でした。平成19年が「偽」、平成20年が「変」でしたが、「新」という字はここ2年とくらべると清々しい感じがします。

「新」しい年を「新」しい思いをもって迎えらる、明るいよい言葉です。

また、今年「寅」年ですが、「寅」の字は、引(のばしひく)「伸(のばす)」と同系の語で『漢書 律曆志』では草木が伸び始める状態を表すと解釈されているそうです。

「新」も「寅」も、これから伸びていく力を感じる言葉です。新しい年が、大きく伸びる年であってほしいと願ひます。

一年の計は元旦にあり

年の初めに、各ご家庭ではどのような目標をたてられましたか。この1年を過ごすための目標を家族で確認してみることがよいことだと思います。

校長 森田和憲

私は、「本を読むこと」と「体を鍛えること」を今年の目標にしました。少なくとも昨年より多くの本を読み、体を鍛えて新たな事に挑戦をしたいと思っています。

「一年の計は元旦にあり」という言葉の由来はいろいろな説があるようですが、中国に

一年の計(はかりごと)は春にあり

一日の計は晨(あした)にあり

※ 晨 夜明けのこと

という言葉があり、江戸時代中期の日本の書物の中では

一日の計は朝にあり

一年の計は元旦にあり

と用いられているそうです。

一日一日を大切に、物事の計画は一日のうちの朝に、一年の計画は年の初めにするべきであるということから「何事も最初が肝心である」という格言です。

一年の初めのこの時期に、しっかりと今年の目標や計画をたてるのが大切です。ぜひご家族でも話し合ってみてください。

また、次のような言葉を続けることもあるようです。

十年の計は樹を植えるにあり

百年の計は子を教えるにあり

「百年の計」を行うことが、学校の役割であり、親の役割です。今年もその気概をもって、取り組んで参りたいと思います。何卒よろしくお願ひいたします。